

お役立ち情報

慢性副鼻腔炎とはどんな病気なのか
またどんな治療法があるのか
動画をまじえて紹介されています。

● 慢性副鼻腔炎について



● 慢性副鼻腔炎の治療法



この冊子は、薬剤溶出型生体吸収性副鼻腔用ステントを使用される予定がある、またはすでに使用された患者さんおよびそのご家族に治療用機器と治療法に関する情報を提供する目的で、日本メドトロニック株式会社が発行しています。

この冊子に記載されている情報や事例などはあくまでも代表的な内容であり、薬剤溶出型生体吸収性副鼻腔用ステントの使用にあたり考えるすべての情報を網羅するものではありません。また結果的に発生した事故・損害を補償するものでもありません。

詳細な情報およびご不明な点は、担当医師におたずねください。

1. Joseph K. Han, et al. Effect of steroid-releasing sinus implants on postoperative medical and surgical interventions: an efficacy meta-analysis. *Interventional Forum of Allergy & Rhinology*. 2012; 2(4): 271-279
2. Ameet Singh, et al. Bioabsorbable steroid-releasing implants in the frontal sinus ostia: a pooled analysis. *Interventional Forum of Allergy & Rhinology*. 2019; 9(2): 131-139
3. Veena Hoffman, et al. Reduction in Healthcare resource use through 24 months following sinus surgery with steroid-eluting implants in chronic rhinosinusitis patients with and without nasal polyps: a real-world study. *Current Medical Research and Option*. 2023; 39(12): 1613-1619

販売名：Propel 鼻腔内ステント
医療機器承認番号：30600BZX00238000

Medtronic

日本メドトロニック株式会社

ENT

〒108-0075 東京都港区港南1-2-70

medtronic.co.jp

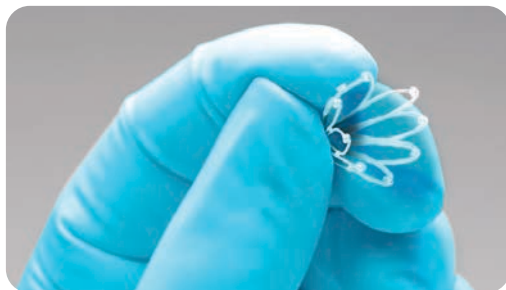
使用目的又は効果、警告・禁忌を含む使用上の注意等の情報につきましては製品の電子添文をご参照ください。
© 2025 Medtronic. Medtronic、メドトロニック及びMedtronic ロゴマークは、Medtronic の商標です。
3232_ENT09092025A

副鼻腔手術後ケアの 新しいオプションが 国内で利用可能になりました

薬剤溶出型
生体吸収性
副鼻腔用ステント



薬剤溶出型生体吸収性副鼻腔ステントは手術後の副鼻腔内に留置され、手術後の副鼻腔の開存を維持しながら薬剤の効果により炎症を抑える効果が期待できます¹⁻³。



副鼻腔ステントのイメージ

よくある質問

副鼻腔ステントを用いることによる効果は示されていますか？

臨床試験の結果、手術後に副鼻腔ステントを用いることで、手術後の再治療介入の必要性が低減する可能性が示されています。
詳しくは主治医にご確認ください。

副鼻腔ステントを入れることで違和感を感じますか？

副鼻腔ステントは軽く、ステントを入れていることで違和感を感じることは稀です。

副鼻腔ステントは取り出す必要がありますか？

副鼻腔ステントは体内に害のない成分でできており、副鼻腔に留置されてから30～45日をかけて体内で吸収されます。そのため治療後に取り出す必要はありません。ステントが解けていく過程で、白い破片が鼻から出てくる場合がありますが問題ありません。

副鼻腔ステントを使用することによる追加の合併症などはありますか？

臨床試験の中では、副鼻腔ステントを使用することにより発生する追加の合併症（副鼻腔手術には発生しないもの）は報告されていません。
詳しくは主治医にご確認ください。

副鼻腔ステントを入れた後で日常生活で注意することはありますか？

副鼻腔ステントを入れたことにより追加で注意することはありません。
医師の判断に従い、通常の副鼻腔手術後に必要な鼻洗浄などの一般的な指示に従ってください。

副鼻腔ステントを使用することによる費用はいくらですか？ 健康保険は使えますか？

副鼻腔ステントはその有用性が評価され公的保険でカバーされています。公的医療保険（健康保険組合・協会けんぽの都道府県支部・市町村国保・後期高齢者医療制度・共済組合など）に加入されている場合は、高額療養費制度が利用できます。この制度では、患者さんの所得や医療費に応じて上限額が決められているため、限度額を超えた差額分は後から払い戻されます。保険の種類や患者さんの年齢、都道府県などで申請手続きや提出書類などが異なり、また病院などの領収書の添付を求められる場合もありますので、詳細は加入されている保険組合および医療機関にお問い合わせください。

1 Maintains opening

手術後の副鼻腔内にカテーテルで送達され、ステントが術後の副鼻腔の開存を維持します。

2 Delivers

炎症を抑えるために、ステントから局所ステロイドが副鼻腔内に持続的に放出されます。

3 Dissolves

役目を終えたステントは、術後30～45日で体内に吸収されて無くなります。

注：
ステロイドやステントに使用されている成分に対してアレルギーがある方は使用することができません。
詳しくは主治医にご確認ください。

副鼻腔ステント：
特に注釈がない場合は、「薬剤溶出型生体吸収性副鼻腔ステント」のことを指しています。